

広島別院だより

Vol.11
秋号

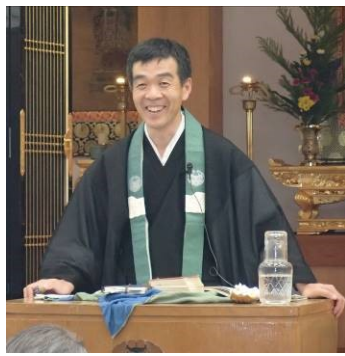
真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

広島別院秋彼岸会（あきひがんえ）

秋彼岸会が九月二十四日（木）に勤められ、約四十名の僧侶・門徒が参詣されました。

木曾修広島別院輪番を導師として、内陣出仕の地区当番である広島市中心部寺院の僧侶や鸞聲会（らんじょうかい）による『往生礼讃偈』の勤行が別院の御堂に響きわたり、勤行後は安本浩樹師（安芸北組専光寺住職）が法話をされました。

安本師は末期がんの病床にあつて「このベッドの上が仏法聴聞の特等席でした」と、仏法に人生の喜びを見出された鈴木章子さん（昭和六十三年逝去）の言葉を引用しながら、「順風満帆な人生よりも苦悩や悲しみを抱えた人生こそが、後を生きる者の道しるべとなる」と話されました。



講師 安本浩樹 師



※鸞聲会とは、真宗大谷派の儀式を研鑽する若手僧侶の会であり、広島県を中心に活動しています。

お寺の活動いろいろ

～大谷大学同窓会広島支部仏教公開セミナー～

八月二十九日（土）、広島別院において大谷大学同窓会広島支部主催の仏教公開セミナーが開催されました。

講師は草野顕之（くさの・けんし）大谷大学学長が、「本願寺の東西分派について」と題し、広島別院開基の教如上人の御生涯を通して、織田信長との石山合戦の後に分派していく本願寺の歴史を話されました。



仏具のおみがきを行いました

九月二十四日の秋彼岸会、十二月二日・三日の報恩講に先立ち、九月十四日（月）別院でおみがきが行われました。

前回のおみがきから半年足らずで、かなり汚れていましたが、十三名の参加者によって仏具がピカピカに磨き上げられました。

誠にありがとうございました。



～推進員養成講座（安芸南組）～

九月二十七日（日）安芸南組の推進員養成講座（中地区講座第一回）が広島別院で開催されました。

講師の近藤龍磨師（岐阜教区第十一組廣専寺住職）による、歌とギター演奏を交えたお話に会場が大いに沸きました。



～芸備組門徒研修会・同朋総会～

十月十日（土）三次市の浄見寺で芸備組の門徒研修会と同朋総会が開催され、約八十人が参加しました。研修会は「歎異抄講座」と題して十九回目で、真宗同朋の会教導の寺川大雅師（芸備組西願寺住職）を講師として親鸞聖人の教えを毎回たずねていきます。

同朋総会では「身近な人の最期をみる」ことが最近減って、死と向き合う機会が少なくなつた」「なぜ、お内仏には造花ではなくて生花をお供えするのか？」など様々な意見や質問が出されました。



お寺のハテナ?

【報恩講(ほうおんこう)】

報恩講は親鸞聖人が亡くなられた祥月命日の前後に勤める、親鸞聖人への「恩を報ずる講(集まり)」です。本山、寺院、門徒にとつて一年で最も重要な法要です。



親鸞聖人は一二六二年十一月二十八日(旧暦)に九十歳で亡くなられました。真宗大谷派の本山、東本願寺(真宗本廟)では、毎年十一月二十一日～二十八日まで報恩講が勤まります。西本願寺では、一月九日～十六日です。報恩講には、親鸞聖人の生涯を絵にした御絵伝(ごえでん)が内陣の余間に掛けられます。

また、報恩講等の法要時には、お齋(とき)が作られます。お齋とは、仏事のときにいただく食事のことです。ことに報恩講では親鸞聖人がお好きだったと伝えられる小豆を使った料理が膳に載ることが多いようです。

法要の御案内

広島別院報恩講

【期日】 十二月二日(水)・三日(木)

【講師】 寺川大雅師(芸備組 西願寺住職)

日程

■二日(水) 一四〇〇〇 速夜勤行(入楽)と法話

一六〇〇〇 初夜勤行と御伝鈔の拝読

■三日(木) 八〇〇〇 晨朝勤行と法話

一〇〇〇〇 日中勤行(入楽)と法話

※入楽とは雅楽演奏の入る法要です

道場樹 編集室より

先日、広島別院にアメリカのシアトルから日系人の家族三人が来院した。聞けば、アメリカに移民をした父親が、もともと広島の大谷派門徒だったそうで、今回は先祖の墓参りの途中に立ち寄ったようである。

明治に始まった海外移民だが、その数全国一位は広島県である。多くの移民を出した理由は「人口に対して耕地面積が少ないため海外に活路を見出した。」、「港湾建設のため広島湾岸の漁場が減ったから。」など様々だが、とにかく当時の広島は人口が多かったようである。

その人口増加の理由として浄土真宗の信

仰が深く影響していることは多くの研究者の指摘するところである。真宗門徒は、いかに貧しくとも生まれてきた子供を間引きせずに、仏様からお預かりした子として育てた。その子供たちが海外に渡り、過酷な環境にあっても如来のいのちを生きる者としてその人生を引き受けていったのだろうか。

もはや日本語はほとんど解らない三人だったが、たまたま推進員養成講座の最中ということもあり、見学を勧めてみた。

小さな声で「ナムアマダブツ」と称える姿が、いかにも大谷派っぽい。思わず、「お帰りなさい」と声をかけたくなった。

(H・N)

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

【HPアドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>
(アドレスが新しくなりました)



広島別院報恩講をお勤めいたします。ご家族ご友人のお誘いあわせの上、御参詣下さい。